

おけのこ

たけな竹灯籠「竹楽」(竹田市)

第3回定例県議会

災害の早期復旧、経済の好循環を創出



九月十九日に開会した二〇二三年第三回定例県議会は、十月四日に上程議案に対する採決が行われ、十六日間にわたる全会議日程を終えました。

■災害からの復旧・復興

今年の梅雨時期は、由布市で観測史上最大となる一時間降水量を記録したほか、日田市と中津市では大雨特別警報が発表されるなど、度重なる大雨により、大きな被害が生じることとなりました。(亡くなられた方々の御冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます)

この大雨は全国各地に被害をもたらし、本県でも河川や砂防施設等を中心に約二百六十億円に上る被害

を受け、今議会で早期の復旧・復興に向けた補正予算を議決したところです。

■県経済の持続的発展

県内経済は人流の回復で個人消費が戻るほか、半導体不足の緩和に伴い生産活動も持ち直すなど、緩やかに回復しつつあります。また、コロナ禍で痛手を受けた観光業も以前の水準に戻ってきています。

一方で、人材不足の問題が更なる経済活性化に向けた懸念材料となっており、各事業所での賃上げ等の対策が急務となっています。

■持続的賃上げの支援

本県の最低賃金は現行から四十五円高い八百九十九円へと引き上げられ、人材確保や物価高で喘ぐ県民の生活を支えるものとなります

補正予算・事業概要

今議会では、梅雨前線による大雨災害からの本格的な復旧・復興に向けた経費を追加するほか、人材確保等に取り組む貨物自動車運送事業者を支援する等の補正予算を審議しました。

<補正後の一般会計予算>

補正額の合計:	19,224,509千円
既決予算額:	724,611,000千円
累計予算総額:	743,835,509千円
(歳入財源の内訳)	
○国庫支出金:	6,678,379千円
○県債:	3,384,000千円
○繰入金:	325,816千円
(おおいた元気創出基金等の取崩)	
○繰越金:	8,836,314千円

事業概要 *【】内の額は補正後の累計額

梅雨前線による大雨災害からの復旧・復興に向けた取組



1. 土木施設災害復旧事業

被災した道路(32か所)、河川(194か所)、砂防(50か所)等の公共土木施設の原形復旧を行う。
※災害の再発防止に向けた河道の拡幅などの機能強化については災害関連事業で実施
【17,005,298千円】

2. (公)河川災害関連事業

災害の再発を防止するため、河道の拡幅や護岸のかさ上げ等の機能強化を行う。
・小野川(日田市) 【236,300千円】

3. (公)緊急地すべり対策事業

災害の再発を防止するため、地すべり対策工事(畑倉地区:由布市湯布院町川西)を行う。
【367,500千円】

4. 林道災害復旧事業

被災した林道の復旧を行う市に対し助成する。
・岳滅鬼線(中津市、日田市)
・中山線(日田市)など計42路線
【1,275,070千円】

5. 災害関連緊急治山事業

山地崩壊、土砂流出などの被災箇所における復旧及び機能強化を行う。
・中山地区(日田市)
・上惣見地区(中津市)など計12か所
【1,672,847千円】



6. 漁業災害復旧事業

土砂などの流入により航路埋塞等の被害を受けた小祝漁港(中津市)の復旧を行う。
【853,300千円】

7. 文化財保存事業補助事業

被災した文化財の復旧を行う市等に対し助成する。
・国指定重要無形文化財:小鹿田焼(日田市)
・県指定有形文化財:羅漢寺橋(中津市)
【58,014千円】



その他事業

1. 貨物自動車運送業環境改善
緊急支援事業

「2024年問題」に直面する貨物自動車運送事業者の経営環境等を改善するため、価格転嫁や人材確保等に取り組む事業者に対し、支援金を支給する。
・支給額:大型自動車 5万円/台
大型自動車以外 2.5万円/台
・限度額:1事業者当たり 250万円
【325,816千円】



2. 決算剰余金の基金への積立

今後の健全な財政運営を図るため、4年度決算剰余に伴う繰越金の一部を財政調整用基金などに積み立てる。
【8,770,457千円】
・財政調整基金:3,908,938千円
・減債基金:2,945,472千円
・おおいた元気創出基金:1,836,047千円
・芸術文化基金:80,000千円

が、厳しい経営環境にある事業者にとって賃上げの実現は容易ではありません。

境づくりを支援する。この他にも、県は次代を担う若者の確保にも力を入れるとし、返還免除付き修学資金の充実や本県に移住を希望する若者に寄り添った伴走型の転職支援にも取り組むとしています。

大分分屯地(大分市鶯野)に
新設される大型火薬庫の
利用計画の見直しを求める

政府は昨年12月に策定した「国家防衛戦略」で自衛隊が有事に必要な能力を確保するためとして、5年間かけて火薬庫を増設する方針を示しています。国の今年度予算には約58億円が計上され、大型火薬庫を大分市鶯野の大分分屯地と青森県むつ市内の自衛隊施設に新設することが発表されています。この大型火薬庫には、「反撃能力」を行使するための「長射程ミサイル(スタンド・オフ・ミサイル)」が保管される見通しですが、内容は「機密扱い」とされ非公表です。そのため、分屯地周辺の住民をはじめ県民から不安の声が出されています。県民クラブとしても、県民の不安解消を図るとともに火薬庫の利用計画の見直しを求める立場であり、地方自治法に基づく意見書を提出するよう今議会に提案しました。(採決の結果は「賛成13・反対28」で不採択に。詳しくは県議会HPを参照)

文教警察委員会 県外所管事務調査

県議会では、第3回定例会の前段に所管事務の県外調査を行います。私の所属する文教警察委員会は、大阪府、兵庫県、広島県を訪問し、現地視察・調査を行いました。

1 大阪市立天王寺中学校夜間学級 9月4日

大分県には夜間中学校が未設置です。現在、本県の教育委員会が設置の必要性を検討しています。夜間中学は戦後の混乱期に義務教育を修了できなかった方々等を対象とした学校です。

大阪府では、外国籍の生徒が急増しているそうです。時代背景が大きく変化したなか、大分県の方角性を見極めなければなりません。



2 兵庫県警察本部 9月5日

兵庫県では、自転車運転者講習制度（3年以内に信号無視等の違反行為で2回以上検挙されたら受講



義務が生じる)が実施され、一定の効果を上げています。(大分県は未実施)

皇室行事等における大規模警備では、ドローンやサイバーテロ対策が強化されています。(来年11月、大分県では「全国豊かな海づくり大会」が開催され、天皇后両陛下が来県の前)

3 兵庫県立神出学園 9月5日

全国初で設置された県立の全寮制フリースクールです。中学校を卒業した県内在住者で、不登校等によって心に悩みをかかえながらも、自分の生き方や進路を見つけない意欲をもつ若者を支援しています。(寮生活では基本的にスマホ禁止)



4 広島県立広島観智学園 9月6日

国際バカロレアプログラム（国際的に適用する大学入学資格が取得できる）に取り組む中高一貫校です。竹原市からフェリーで30分ほどの島「大崎上島町」に立地しています。(全寮制)

中学3年生の流暢な英語にビックリ。大分県にもこんな学校ができればと期待しています。



5 広島平和記念公園 9月6日

つい先日、G7の首脳らが訪問したばかりです。私が修学旅行で訪れた当時と異なり、外国人旅行者(特に欧米系)の訪問者がかなり多く目立ちました。平和の意味・大切さを世界が考え、共有していきたいと改めて感じたところです。



最近の活動

7月

- ▷ NPO 法人大分市日中友好協会総会
- ▷ 第2回定例県議会開会
- ▷ 国際大会出場報告(ライフル射撃競技)
- ▷ 第63回地方自治研究大分県集会(竹田市)
- ▷ 大分政経懇話会「岸田政権の課題と政局展望」(政治解説者：篠原文也氏)
- ▷ 2023連合平和行動 in 大分
ウクライナ紛争や東アジア地域での緊張の高まりを背景に、政府は「反撃能力」の保持に舵を切る。戦争を始める事より、平和を守ることの難しさを街頭から訴える。



8月

- ▷ SAGA2024 ライフル射撃競技会の開催に向けて 佐賀県知事と意見交換(由布市役所)
- ▷ 防災気象講演会(J:COM ホルトホール大分)
- ▷ 第2回定例県議会閉会
佐藤県政初の定例県議会にて議案を採決。会派を代表し、上程議案に対する総括討論に臨む。財政健全化や豊予海峡ルート等の施策に対し、留意すべき点や課題等を指摘。
- ▷ 大分大学大学院イノベティブ経済セミナー「地方変革のために必要な人材育成の2つの能力」(碓邦生氏)
- ▷ 国際理解推進講座「大分市出身の私が中東で最も有名な日本人サラリーマンになるまで」(鷹鳥屋明氏)



- ▷ 2023連合大分平和の夕べ・原爆パネル展
- ▷ 夏休みは県議会へ行こう！夏休み子ども議会見学
県内各地の小学校の5・6年生が参加。「学校に秋休みをつくってほしい」など、子ども達から次々と要望や質問が投げかけられ、議員が答弁に苦勞。
- ▷ 大分みなと祭り(大分港大在埠頭)
- ▷ 第60回九州各県議会議員親善野球大会(宮崎市)



9月

- ▷ 大分県戦没者追悼式(別府市・ビーコンプラザ)
終戦から78年を迎える。今年は4年ぶりの通常開催。本県所縁の4万4千人を超える御霊に哀悼の意を捧げ、平和の尊さと大切さを改めて心に刻み込む。
- ▷ 第76回大分県民スポーツ大会(別府市)
広く県民の間にスポーツを普及・振興させ、県民の健康増進と体力の向上を図る。県議会スポーツ議連の監督として、議員ソフトボール大会に出場。惜しくも準決勝進出で終了。
- ▷ 大分政経懇話会「AIのいま チャットGPTのいる日常」(福知山公立大学副学長 西田豊明氏)
- ▷ 第3回定例県議会開会
- ▷ 大分県議会都市政策研究会(大分市長との意見交換)



防災士 木田昇の 防災メモ

外出先で地震に遭遇したら②

電車に乗っている時に地震に遭遇する可能性もあります。強い揺れを感知すると電車は緊急停車するため、倒れて人や物に強くぶつかる危険があります。

シートに座っていたらカバンなどで頭を保護し、立っている時は姿勢を低くして身を守りましょう。揺れが収まったら乗務員の指示に従って行動してください。



また、自動車を運転している場合、急にスピードを落とすと衝突の危険があります。ハザードランプを点灯しながら徐々に減速させ、道路の左側に止めてエンジンを切って揺れが収まるまで待機してください。



車から離れる際は、緊急車両の妨げにならないよう、ドアロックせずにキーは車内に残したまま連絡先メモを残すなどしておきます。



公式LINEはコチラ
木田昇の議会・政務活動を随時更新中。



ご意見・ご要望なども、お気軽にご連絡ください！
*QRコードからお友達登録をよろしくお願いします。

県民クラブHPIはコチラ
<https://kenmin-club.com/>



竹の子記
これは「新たな戦前」の序章になるのか、自衛隊大分分屯地内で大型弾薬庫の建設が着工されます(表面右下の記事を参照)▼弾薬庫に保管される長射程ミサイルは、湯布院駐屯地に新設予定の「地对艦ミサイル連隊」に配備される見通しです。これは、昨年末に閣議決定された「大幅な防衛費増額」等を含む「安保三書改定」に伴うもので、向こう五年間で現行から一・六倍の規模で防衛装備等が増強されます▼日本が、従来の専守防衛の方針から「反撃能力の保有」へと舵を切ること、は、東アジアにおける国際関係に重大な影響を及ぼすものです。しかし、現下のウクライナ情勢等を背景に容認せざるを得ない風潮もあり、反発の世論は高まりません▼歴史を顧みれば重要で、日清戦争後の日本は多額の賠償金を得て軍備拡張を進め、ロシアを中心とした三国干渉に対すは前向きでした。その後の日本が歩んだ歴史は周知の通りです▼先日訪問した広島平和記念公園の慰霊碑には「...過ちは繰り返します。ぬから」と刻まれています。悲劇を繰り返すことなく、平和な未来を築く責任は現在の世論を形成する私たちにあります。